

長野県議会議員選挙候補者アンケート結果（木曽郡）

		木曽郡	木曽郡
		村上 淳	三浦 茂樹
問 1	地域医療ビジョンは地域の実情に応じて医療機関及び住民の声を反映させることについて	賛成	賛成
			人口減少の中山間地域では、機械的な算出では命が守られず、医療格差がうまれるため。
問2	都道府県ごとに医療費支出目標を定め、医療費適正化を図ることについて	賛成	反対
		際限なく伸びる医療費に一定の歯止めをかける。	医療費の支出は機械的に出せるものではない。医療費を抑制するのであれば、未然に防ぐ活動に特化すべき。
問3	市町村国保を都道府県単位化することについて	賛成	反対
		黒字に出来れば良い	人口減少の激しい地域こそ、県内でも医療費格差がうまれるおそれがある。
問4（1）	乳幼児等医療費を窓口無料（現物給付）とすることについて	その他	賛成
		議論したい	子どもは親の収入により命の格差・医療費の格差があってはならないため。
問4（2）	福祉医療費助成制度で1レセプトあたり500円の負担金を廃止することについて	その他	賛成
		議論したい	子どもは平等に医療をうけ、命を守る義務が行政にはあると考える。
問5	任意の予防接種費用を県が助成することについて	その他	賛成
		予防接種の重要性に変化あり	日本国憲法下では、当然のことである。
問6（1）	地域包括ケアシステムは市町村格差に配慮し、国や県の支援により公的サービスを中心とすることについて	その他	賛成
		地域の実情に配慮する事は良い	医療・介護は地域格差をうんではならない。
問6（2）	要支援者を介護給付から市町村の総合事業へ移行することについて	反対	反対
		サービスに格差が出る	中山間地の行政ほど補助金だのみで、自主財源を持っていないため、格差の拡大につながる。
問7（1）	地域創生の推進として重視すべき課題	1、首都機能の移転 2、法人本社機能を地方へ分散 3、過疎中山間地を盛り上げる	地域で木曽なら木曽でお金、物、人がまわるシステムをつくりあげないと地方創生の意がなく、場当たりの支援では過疎化はとめられません。そのためにも、権限と財源をその地域、木曽なら木曽にうつすべき！それが国の発展にもつながる。 ・医療格差の解消 ・教育の選択肢の確保
問7（2）	子どもの貧困対策として重視すべきこと	大人が貧困だから子どもが貧困になる。大人が収入のある環境をつくり出す	・小中学校の給食費の無料化　・中学校までの医療費の窓口無料化　・保育料の無料化
問8	長野県の医療、介護、福祉政策に関する自由意見		・中学生までの医療費の窓口無料化は、長野県で子育てをするという観点から進めなければならない。また、介護費用の抑制の観点から、親との同居世帯の優遇税制の導入をする。 ・看護師不足を解消するために、全国から看護師を県職員の身分として募集して各市町村の医療機関に派遣する。